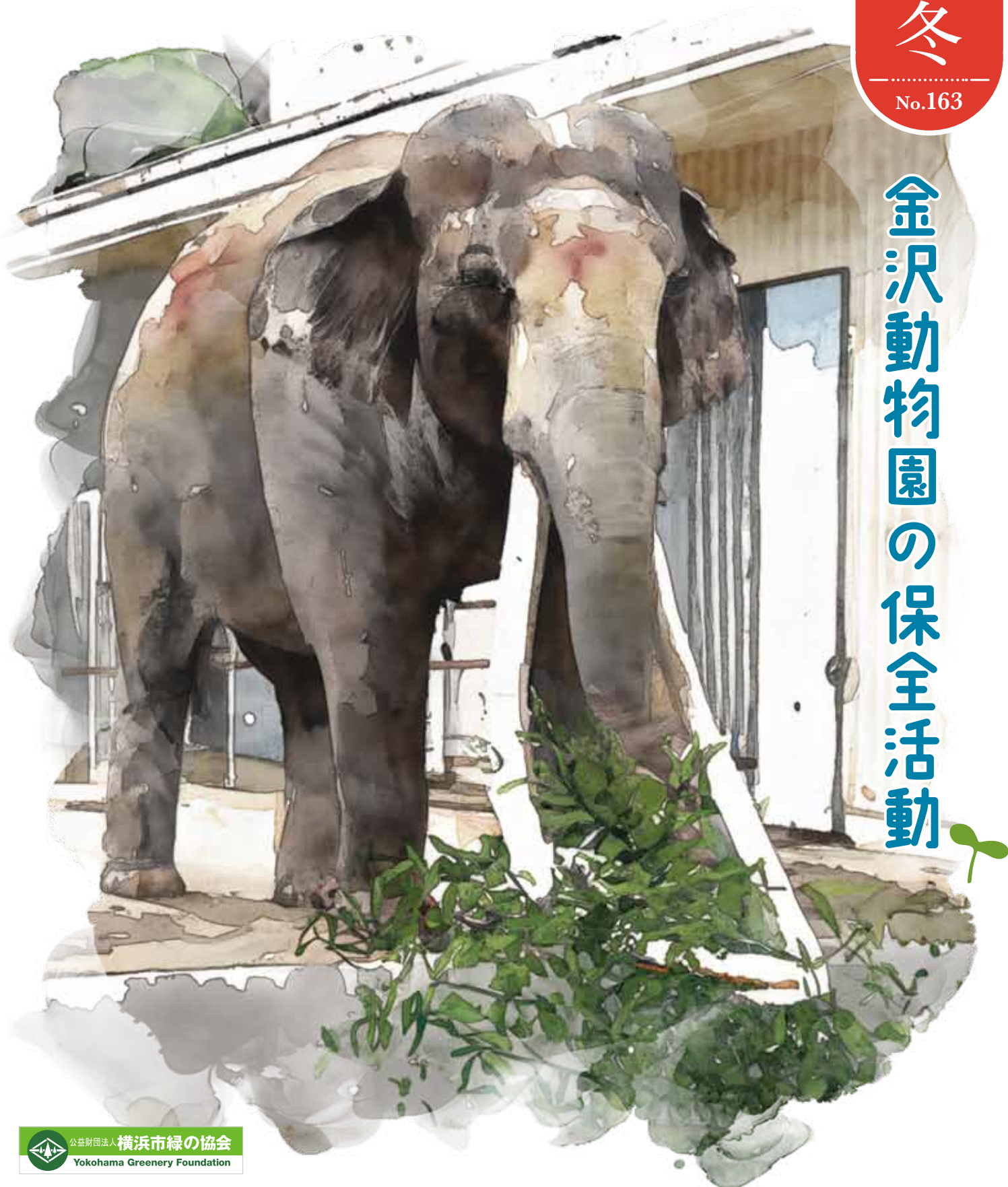


# みどり

冬

No.163

金沢動物園の保全活動







竹を食べるゾウ

## 金沢動物園の竹林整備

金沢動物園では、保全チームが横浜市と協力して公園内の生物多様性の向上を目指した活動を行っています。

動物園内のモウソウチクとマダケの竹林の管理では、動物園で飼育しているインドゾウの「ボン」と「ヨーコ」が保全チームで伐採した竹を食べ、消化し、フンをする事で、資源の循環の輪を作り出しています。

ゾウにとって竹は、嗜好性があるだけでなく、比較的低栄養価で、高繊維質のため草食動物のゾウにとって健康食でもあります。また、間伐した竹を丸ごと与えることで、ゾウは竹の葉を鼻でからめとったり、幹を足でつぶして食べやすい大きさにして食べたり、食べるのに工夫と時間が必要なため、心身の健康維持にも効果があります。さらに、排出されたフンは、園内でたい肥化し、園だけでなく当協会が管理する他の公園で花壇等の肥料にも活用するという、資源の循環が形成されています。

このような整備・管理活動によって、これまで竹の繁茂によって遮られていた日光が林内に入るようになり、林床部では、希少なランの仲間のエビネ等が、途絶えていたライフサイクルを取り戻し、種子散布するようになっています。また、間伐により竹林エリアを縮小したことで出来た空間には、ガマズミ、ヤマウコギ、マツカゼソウ等の雑木林で生育する植物が、何種も確認されるようになりました。

今後もインドゾウと共に竹林管理を続け、金沢動物園をはじめ、横浜市域の生物多様性保全に貢献していきます。

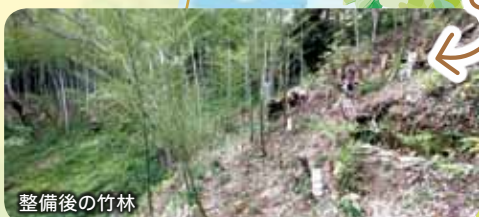
# 金沢動物園の保全活動

金沢動物園がある金沢区は園が開園した約40年ほど前と比べ、緑被率\*が約50%から約30%に減少するなど、身近な自然が少しずつ失われています。この状況を食い止めるために金沢動物園では生息域内保全、域外保全の両面から出来る活動を推進しており、金沢区の豊かな自然を未来へ引き継ぐため「金沢動物園保全推進チーム」(以下「保全チーム」)を結成し、一丸となって取り組んでいます。

※緑被率：樹林地、農地、草地などの緑地面積



整備前の竹林



整備後の竹林

## ミゾゴイ放鳥技術研究

金沢動物園を含む横浜市立動物園では、絶滅危惧種であるミゾゴイの保全活動を平成16年から継続しており、飼育下繁殖と長期飼育の成功を経て、現在は将来的な野生復帰に備えた放鳥技術確立を目指す段階へと移行しています。

令和5年には、横浜市繁殖センターと協力し、飼育下で育ったミゾゴイを自然に戻す技術を研究するための「試験放鳥事業」をスタート。採餌や飛行の訓練を経て、金沢動物園内でこれまでに4羽の試験放鳥を実施しました。放鳥後も目撃情報の収集や発信機による追跡を行っています。

### ミゾゴイってどんな鳥？

全長49cmほどのサギ科の鳥で、ほぼ日本のみで繁殖しています。低山の森林の中に生息していますが、森林開発などの里山環境の悪化により個体数が激減し、絶滅危惧種に指定されています。



訓練中のミゾゴイ

捕獲したいきものをカウント

## ザリガニ調査隊



ザリガニ調査

毎月第4日曜日に金沢自然公園内「みずの谷」で来園者参加型の水生生物の調査を開催しています。池にすんでいるいきものを採集し、種類ごとに分けて学生ボランティアやスタッフがいきものの捕獲数をカウントします。繰り返し調査をすることで、どの時期にどんないきものが暮らしているか、外来種の影響がどれくらいあるかを知り、どうすればもっといろいろないきものが暮らせるようになるのかを考え、環境改善につなげていくための活動を行っています。



捕獲したいきものをカウント

## イベント情報

### 金沢動物園でお正月

ほのぼのの広場付近にお正月の装飾をします。正月特別ガイドや「新春かなくじ」(金沢動物園オリジナルのくじ引きで、園内各所にかなくじの結果パネルを掲示)のほか、マスコットキャラクター「ゆーかりん」のグリーティングを行います。

【開催期間】1月2日(金)～1月4日(日)  
(新春かなくじは1月12日(月・祝)まで)

【場所】園内各所

【申込】不要

### Zoo to Wild Fes Spring ～楽しくSDGzoo®～

SDGsやサステナビリティをテーマとして、生物多様性の保全や持続可能な社会に向けて活動する企業や団体と連携し、私たちが取り組める身近な一歩について啓発するイベントを実施します。

【開催期間】3月20日(金・祝)～3月22日(日)

【場所】わくわく広場

【申込】不要

※SDGzooは毎日新聞社の商標登録です。



### 金沢動物園の野良しごと

金沢動物園で行っている環境整備活動のパネル展と環境整備活動の体験教室を実施します。

#### パネル展

【開催期間】2月10日(火)～2月23日(月・祝)

【場所】身近ないきもの館前広場

【申込】不要

#### 体験教室 野良しごと体験 ～山の手入れをしよう～

竹林整備のお手伝いを行います。

【開催日】2月21日(土) ※雨天中止

【場所】金沢自然公園

【対象】小学5年生以上(小学生は親の同伴が必要)

【定員】10組(20名) ※1組2名まで

【申込期間】1月31日(土)～2月14日(土)

【申込方法】金沢動物園ホームページ申込フォームより



外観

## 身近ないきもの館

「身近ないきもの館」は、横浜で暮らしている、または暮らしていた身近ないきものを通して、その多様性に気づいてもらうことを目的とした施設です。ヤマアカガエル、アカハラモリなどの両生類、アオダイショウなどの爬虫類、アカネズミなどの小型哺乳類、カブトムシやクワガタなどの昆虫類、ミヤコタナゴなどの魚類のほか、季節ごとに見られる身近ないきものを展示しています。冬の「身近ないきもの館」では、いきものが冬を越す様々な姿(冬眠する姿や卵等)を観察することができます。

また、横浜市が定めた希少種である横浜保全種の飼育繁殖および普及啓発にも取り組んでいます。主要な保全種には、ヤマアカガエル、ムカシツチガエル、ミヤコタナゴ、ミナミメダカ、ホトケドジョウ、ミヤマクワガタ、ヘイケボタルなどが含まれます。



ミヤコタナゴ



アカハラモリ

## 基本情報

【所在地】横浜市金沢区釜利谷東5-15-1

【アクセス】京急線 金沢文庫駅西口 1番バス乗り場より「野村住宅センター」行きに乗車し約10分、バス停「夏山坂上」下車、動物園入口まで徒歩6分 ほか

【駐車場】1200台(有料)

【開園時間】9:30～16:30(入園は16:00まで)

【休園日】毎週月曜日(祝・休日の場合は翌日)、12月29日～1月1日 ※5月・10月は無休

【入園料】一般500円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料(毎週土曜日高校生以下無料)

【お問合せ先】TEL 045-783-9100



HP



Instagram



X



Facebook



YouTube





# 横浜みどりアップ計画[2024-2028]

## 2024(令和6)年度の主な実績をご報告します

横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」を進めています。

横浜みどりアップ計画

### 2024年度に実施した事業の主な実績

横浜みどりアップ計画は  
3本の柱で進めています

#### 市民とともに次世代につなぐ森を育む

- 緑地保全制度による新規指定：49.5ha(特別緑地保全地区、市民の森、緑地保存地区など)[5か年の目標：180ha]
- 森の維持管理：推進[5か年目標：推進]
- 森づくりを担う人材の育成：10回[5か年目標：50回]
- 市内大学や関係団体等との連携や区主催による地域の森でのイベントの実施：115回[5か年目標：180回]

#### 市民が身近に農を感じる場をつくる

- 水田保全面積：112.5ha[5か年目標：115ha]
- 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設：3.38ha[5か年目標：19.5ha]
- 直売所・青空市等の支援：62件[5か年目標：285件]
- 市民や企業等との地産地消の連携：15件[5か年目標：75件]

#### 市民が実感できる緑や花をつくる

- シンボリックな緑の創出：3か所[5か年目標：5か所]
- 地域緑のまちづくり支援：7地区[5か年目標：35地区]
- 子どもを育む空間での緑の創出：28か所[5か年目標：100か所]
- 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり：推進[5か年目標：推進]



森づくりボランティア入門講座 新治市民の森(緑区)

詳しくはホームページをご覧ください

横浜みどりアップ計画



【お問合せ】 TEL: 045-671-2712 FAX: 045-550-4093  
横浜市みどり環境局戦略企画課 Email: mk-kikaku@city.yokohama.lg.jp

## GREEN×EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

通信 第10回

### 大阪・関西万博の熱気を「GREEN×EXPO 2027」へ!

約半年間にわたり日本中を熱気の渦に巻き込んだ大阪・関西万博。国内で次の万博となるGREEN×EXPO 2027を「次の万博は横浜。」をキーワードに万博会場や大阪市内などさまざまな場所でPR活動を実施しました。これらのPR活動を通じ、来場された多くの方々にGREEN×EXPO 2027を知っていただき、万博での興奮をそのままに2027年の横浜開催への期待につなげていきます。

また大阪・関西万博公式キャラクター「ミャクミャク」とGREEN×EXPO 2027公式マスコットキャラクター「トウクントウクン」とのコラボレーショングッズは、大好評につき一部をEXPO 2027オフィシャルストアで再販中! この機会にお買い求めください。



ポスタービジュアル



大阪・関西万博会場に設置された「トウクントウクン」モニュメント

### GREEN×EXPO 2027特別仕様デザインのラッピングトレイン運行中!

横浜市営地下鉄ブルーライン・グリーンラインでは、GREEN×EXPO 2027開催前500日を記念したラッピングトレインを運行中です。(運行期間は、GREEN×EXPO 2027の開催終了まで。)市営地下鉄をご利用の際は、GREEN×EXPO 2027特別仕様の車両をぜひみつけてください!



## 基金 だより

### 寄付団体

「よこはま緑の街づくり基金」は横浜市内の民有地の緑化を市民の皆様の手によって進めるために市民・企業・団体等からの寄付を積み立て、その運用益で市民の皆様の緑化活動を支援しています。

令和7年8月1日～令和7年10月31日に寄付をいただいた団体(順不同、敬称略)

有限会社コーエー環境緑化、株式会社とんぼ電工、コマデリ、あったかや、アジア・キッズ、キナリノワ、有限会社相澤良牧場、アートモバイル株式会社、移動カフェ thanks milk、イツ・コミュニケーションズ株式会社、個人寄付ご協力の皆様、花やぐまち助成事業利用団体の皆様、市内募金箱ご協力の皆様

令和7年10月31日までの積み立て総額は、2,712,812,570円です。

区役所等に募金箱を設置しています。



基金の果実(利息)は、市民の皆様の緑化活動に活かされています。  
よこはま緑の街づくり基金にご協力をお願いします。(ご寄付は税制上の優遇措置が適用されます)

- 寄付金の振込先 ▶ 横浜銀行本店 普通No.0381642 受取人:(公財)横浜市緑の協会
- お問合せ先 ▶ (公財)横浜市緑の協会 緑化推進課 TEL: 045-228-9470 FAX: 045-641-0821

季刊誌みどり 冬号 2026年1月1日発行

編集発行/公益財団法人 横浜市緑の協会  
〒231-0021 横浜市中区日本大通58 日本大通ビル2階  
TEL: 045-228-9420 FAX: 045-680-2031  
デザイン・印刷/善友印刷株式会社

